

貸借対照表

(2020年2月29日現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	29,579,505	流動負債	492,204
普通預金	29,579,505	未払費用	364,399
		預り金	112,805
		未払法人税等	15,000
		負債合計	492,204
		(純資産の部)	
		株主資本	29,087,301
		資本金	15,000,000
		資本剰余金	15,000,000
		資本準備金	15,000,000
		利益剰余金	△912,699
		その他利益剰余金	△912,699
		繰越利益剰余金	△912,699
		純資産合計	29,087,301
資産合計	29,579,505	負債及び純資産合計	29,579,505

個別注記表

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・仕掛品

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

主として定率法を採用しております。ただし、建物（附属設備を除く）並びに 2016 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数については以下のとおりであります。

- ・建物 8 年～18 年
- ・器具備品 3 年～15 年

②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間による定額法を採用しております。また、市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売期間（3 年以内）における見込販売数量に基づく償却額と、販売可能な残存販売期間に基づく均等配分額を比較し、いずれか大きい額を計上する方法によっております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員等の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき当事業年度の負担額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

受注制作のソフトウェアに係る収益及び費用の計上基準

①当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約

工事進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）

②その他の契約

工事完成基準

(5) 外貨建の資産または負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(6) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額

該当事項はありません。

(2) 関係会社に対する金銭債権・金銭債務

- ・短期金銭債権 該当事項はありません。
- ・長期金銭債権 該当事項はありません。
- ・短期金銭債務 248,149 円
- ・長期金銭債務 該当事項はありません。

4. 税効果会計に関する注記

該当事項はありません。

5. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	住所	資本金 (百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	ネオス株式会社	東京都千代田区	2,376	情報通信サービス	100	事業子会社	資本の組み入れ	15	資本金	15
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	15	資本準備金	15

(2) 兄弟会社等

該当事項はありません。

6. 一株当たり情報に関する注記

(1) 一株当たり純資産額 48,478 円 84 銭

(2) 一株当たり当期純損益 1,521 円 17 銭

7. 重要な後発事象に関する注記

当社の完全親会社であるネオス株式会社（以下「ネオス」といいます。）との間で、ネオスを分割会社、当社を承継会社とする吸収分割契約を 2020 年 4 月 21 日付けで締結いたしました。

8. 当期純損益金額

△912,699 円